



現在の取り組み

取り組みます！ 信号機設置

過去に死亡事故も起きている交差点です。横断歩道があるのみで、歩行者用の信号機はありません。

特に通勤時(登校時)は車のスピードが出ているため、停止することが出来ず、小学生は横断できません。危険な状態となっています。

令和4年度末までには国道180号バイパスが開通予定です。バイパスが開通すると、更に交通量が増えることが想定されます。



危険な横断歩道



LRT化計画が休止になっても

忘れてはいません… 踏切問題

福井支線3467号が市道認定され、**東総社駅前泉本線**となりました。総社市の中心部と180号バイパスを繋げることから、総社市の中心的な役割を果たす本道となり、これまで以上に交通量が増えることが想定されます。

東総社駅西側の踏切改良問題は、桃太郎線LRT化計画の中で議論されており、重要課題として認識されています。



研究
しています

新しい交差点の形！

ラウンドアバウト(循環交差点)

車両は交差点内を右回り(時計回り)に循環し、循環している車両が優先される交差点です。信号がないため、渋滞が緩和され、停電時・災害時にも混乱なく交通処理が可能な点から、全国的に注目されています。岡山県では信号の新規設置の申請を受け付けない方針です。しかし、信号が必要な交差点は多数存在しています。これからも、交差点問題に粘り強く取り組んでいきます。



【浅口市寄島町 岡山県で最初のラウンドアバウト】